

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	リンナイ大口工場 製品出荷棟	階数	地上3階
建設地	愛知県丹羽郡大口町替地3丁目1、2番、191番 小牧市入鹿出新田村西616番3、616番4、670番1、670番3	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	480 人
気候区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2022年9月 予定	評価の実施日	2021年3月10日
敷地面積	62,427 m <sup>2</sup>	作成者	加藤 春男
建築面積	3,163 m <sup>2</sup>	確認日	2021年3月20日
延床面積	5,632 m <sup>2</sup>	確認者	内藤 弘康



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.5** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆ 100%超: ★

標準計算

①参照値	0	46 (kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup> )
②建築物の取組み	100%	
③上記+②以外の	102%	
④上記+	102%	

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

**LR のスコア = 2.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">2.8</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">2.8</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄						全体
配慮項目	独自基準 重点項目	建物全体・共用部						全体		
		建物全体・共用部	建物全体・共用部	住居・宿泊部分	住居・宿泊部分	住居・宿泊部分	住居・宿泊部分			
Q 建築物の環境品質		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	2.2		
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル		3.0	-	-	-	-	-			
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温		3.0	-	-	-	-	-			
2 外皮性能		3.0	-	-	-	-	-			
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	-	-	-	-	-			
2.3 空調方式		3.0	-	-	-	-	-			
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1 昼光率		3.0	-	-	-	-	-			
2 方位別開口										
3 昼光利用設備		3.0	-	-	-	-	-			
3.2 グレア対策										
1 昼光制御		5.0	-	-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	-	-	-	-	-			
3.4 照明制御		3.0	-	-	-	-	-			
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質		3.0	-	-	-	-	-			
4.2 換気										
1 換気量		3.0	-	-	-	-	-			
2 自然換気性能		3.0	-	-	-	-	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	-	-	-	-	-			
4.3 運用管理										
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	-	-	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-	-	-			
Q2 サービス性能				0.43				2.8		
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性		3.0	-	-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	-	-	-	-			
3 バリアフリー計画	独自	3.0	-	-	-	-	-			
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観(天井高)		3.0	-	-	-	-	-			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	-	-			
3 内装計画		3.0	-	-	-	-	-			
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計		3.0	-	-	-	-	-			
2 維持管理用機能の確保										
2 耐用性・信頼性		0.5	2.9	0.52				2.9		
2.1 耐震・免震・制震・制振		0.4	3.0	0.48						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		0.3	2.9	0.33						
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②		2.0	0.23						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.09						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			4.0	0.15						
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23						
2.4 信頼性		0.1	2.8	0.19						
1 空調・換気設備		3.0	3.0	0.20						
2 給排水・衛生設備		3.0	3.0	0.20						
3 電気設備		3.0	3.0	0.20						
4 機械・配管支持方法	②	3.0	3.0	0.20						
5 通信・情報設備		3.0	2.0	0.20						

給水ステンレス鋼管(SUS)(C)、排水VP(B)、給湯ステンレス鋼管(SUS)(C)。



重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>			<b>2.8</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	2.8	0.10
<b>② 資源の有効活用</b>			<b>2.8</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.22
Q2-3	対応性・更新性	2.7	0.21
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.19
<b>③ 敷地内の緑化</b>			<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17
			外構緑化:0%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1



## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 リンナイ大口工場 製品出荷棟

計画上の配慮事項	
総合	<p>利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。                      主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。                      ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。</p>
Q1 室内環境	<p>評価対象外。</p>
Q2 サービス性能	<p><math>0.1 \leq</math> [壁長さ比率] <math>&lt; 0.3</math>。</p>
Q3 室外環境(敷地内)	<p>建築設備に伴う排熱の位置に配慮している。</p>
LR1 エネルギー	<p>屋根の外皮性能を向上させるために内部断熱材を計画している。</p>
LR2 資源・マテリアル	<p>「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。                      OAフロアを使用している。</p>
LR3 敷地外環境	<p>適切な規模の駐車場を確保している。</p>
その他	<p>特になし。</p>